



図書館祭、特別支援学級の小中連携事業 他

北海道 旭川市立緑が丘中学校

基本データ

所在地	旭川市緑が丘3条4丁目
児童生徒数	586人
教職員数	49人
蔵書数	15,298冊
年間貸出冊数	5,380冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】読書啓発・指導

【活動のねらい】

- 生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動の充実を図る。
- 生徒が自ら本を選ぶ・探すという力を身につけるための取組を実施。
- 図書等の資料と生徒を積極的に結びつける。

取組・活動の概要

(1) 図書館祭（生徒会活動）

- 全校生徒を対象に年2回実施している。
- 図書館の利用促進を目的とし、図書委員会が企画・運営。
- 本や図書館に興味を持ってもらうよう、本に関するゲーム等を実施している。



図書館祭—生徒が主体的に企画・運営



図書館祭—工夫を凝らしたゲーム

(2) 読み聞かせ（特別支援学級の小中連携事業）

- 特別支援学級在籍の児童生徒が対象。校区内の3小学校との小中連携事業の一環。
- 中学生が読み手となり小学生に読み聞かせを実施している。
- 「読み（話し）方」や「伝え方」を工夫したり、苦勞したりで小学生・中学生ともに学びの多い取組となっている。



読み聞かせの様子

(3) 環境整備

- わかりやすいポップやかわいい装飾などを工夫し、楽しそう、面白そうと感じるよう、本のランキングや話題の本の紹介、テーマ別の企画などを掲示。



学校司書によるテーマ別の企画

取組・活動の工夫や特徴

(1) 図書館祭（生徒会活動）

- 生徒のアイデアを生かし、内容を決定していく。

(2) 読み聞かせ（特別支援学級の小中連携事業）

- 季節ごとに「お楽しみ会」の内容を変え、その中に「読み聞かせ」を盛り込んでいくように工夫している。

(3) 環境整備

- 学校司書が中心となり進めている。人気ランキングやジャンル別特集を組むなど様々な企画により、情報発信をしている。

取組・活動の成果や今後の展望

- 生徒が主体となって、学級文庫を設置したり、図書館祭を企画・運営したり、読み聞かせを行ったりすることにより、自主的、自発的な学習活動や読書活動につながっている。
- 環境整備の取組以前は閑散としていた図書館が華やかになり、足を運ぶ生徒が増加した。
- また、計画的に図書資料を整備し、貸出数も以前に比べ増加している。

